

GREEN HOUSE

低 温 調 理 器

取扱説明書

GH-SVMAシリーズ

目次

□安全上のご注意(安全に正しくご使用いただくために)	2
□ご使用上のお願い(未永くご使用いただくために)	8
□各部名称	9
□使用する前に	10
□使いかた	11
□お手入れのしかた	16
□トラブルシューティング	18
□製品仕様	19
□故障について	20

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明



危険

この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。



警告

この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

危険 異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

異常に煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異常に発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音が生じたら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

警告 使用について



水濡れ
禁止

電源コードのプラグは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災やショート、感電の危険があります。



禁止

使用前に、製品に破損がないか確認してください。
破損したまま使用すると火災や感電、ケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電、ケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



禁止

使用時以外では、電源スイッチを ON にしないでください。
やけどやケガの危険があります。



禁止

分解や改造をしないでください。
ケガ、火災や感電の危険があります。



禁止

お子様や取り扱いに不慣れな方だけで使用しないでください。
ケガ、火災や感電の危険があります。

警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

電源コードのプラグは、100ボルト交流電源(AC100V)コンセントにしっかり差し込んで使用してください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OA タップなどの定格を超えて使用しないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、発熱により火災や感電の危険があります。



コンセントから
プラグを抜く

使用時以外は、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



定期的に
プラグを掃除

電源コードのプラグは、定期的に掃除を行ってください。
電源コードのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。
定期的に電源コードのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源コードのプラグのお手入れは、コンセントから取り外して行ってください。
電源コードのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定格超過
禁止

定格15A以上の100ボルト交流電源(AC100V)コンセントを単独でご使用ください。延長ケーブルやOAタップなどの定格を超えて使用しないでください。
タコ足配線などで他の器具と併用すると、発熱により火災の原因になります。延長コードは使用しないでください。



コード傷つけ
禁止

電源コードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っぱったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災やショート、感電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。

警告 設置について



不安定な場所に置かない

製品はクリップでしっかりと鍋などに固定してください。
固定が不安定だと、落下や火災の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など湿度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

乳幼児や感覚や行動に不自由のある方の手の届くところに放置しないでください。
ケガややけどの危険があります。



水滴れ
禁止

長時間水がかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水滴れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災やショート、感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取り除いてください。



禁止

じゅうたんや畳、テーブルクロスなどの可燃性の高いものや、ガラスやプラスチックなどの耐熱性の低いものの上に置いて使用しないでください。
火災の原因になります。

注意 使用について



使用中は本体を移動しないでください。
ケガややけどの原因になります。



使用中や使用後は本体下部が高温になりますので、直接触れないでください。
ケガややけどの原因になります。



使用中は本体をふきんやタオルで覆った状態にしないでください。
故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



使用後のお手入れや持ち運びは、本体の粗熱がとれてから行ってください。
ケガややけどの原因になります。



使用後は必ずお手入れしてください。
故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- 本書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源コードのプラグをコンセントに差し込んだまま、移動しないでください。
- 使用中、本体が熱くなりますので、取り扱いには十分にお気をつけください。

使用する鍋などの容器について

- 製品の MIN 線(最小水位線)を超える深さの鍋を使用してください。
- 調理後、高温になった容器内の水の取り扱いには、十分にお気をつけください。

結露(つゆつき)について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となるおそれがあります。
- 結露が起こった場合、結露が乾いてから使用してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

廃棄について

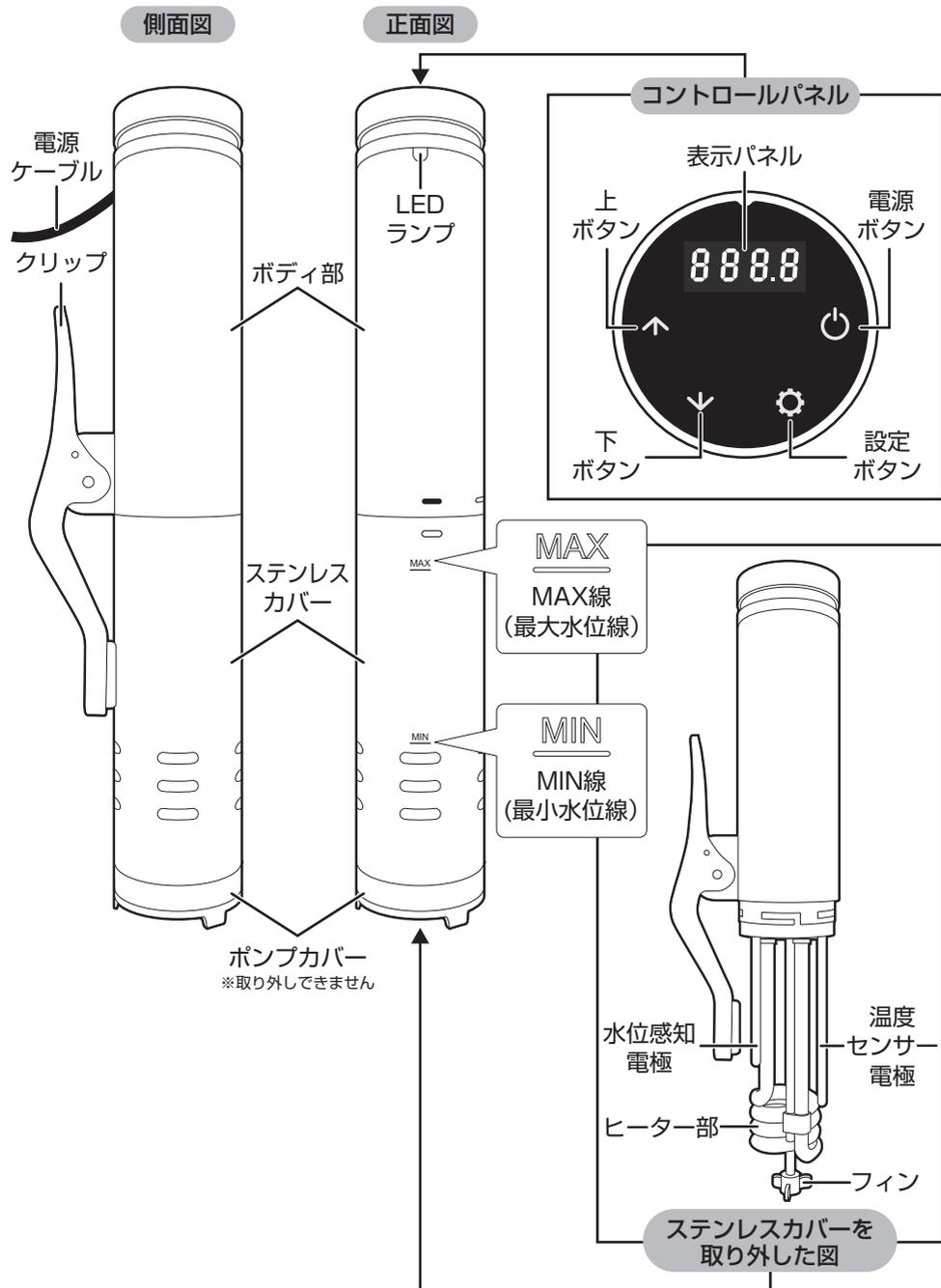
- 廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。

免責事項

- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用をともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用をともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

※本製品は保証期間に限り、初期的な使用不能や、取扱説明書、パッケージなどの記載に従った使用で故障した場合に無償対応いたします。

各部名称



使用する前に

■内容物の確認

- パッケージの中に下記のものが入っているかご確認ください。
 - ・製品本体
 - ・取扱説明書(本書)
 - ・レシピブック
 - ・保証書

■保護材や緩衝材について

- 本体を保護するため、工場出荷時に本体を袋やシートなどの保護材で包んでいますが、使用前に必ずすべての保護材を取り除いてください。
保護材が残ったまま使用すると、故障の原因となり、火災の危険があります。

■パッケージから取り出したら

- パッケージから取り出した後、本体と各部品をお手入れしてから使用してください。
お手入れの方法については、P.16を参照してください。

■電源コードについて

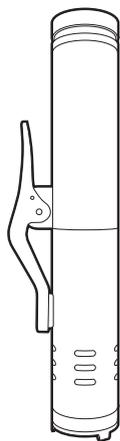
- 工場出荷時に電源コードを束ねた状態にしていますが、使用前に必ず電源コードをほどいてください。
電源コードが束ねられたまま使用すると、火災の危険があります。

■食の安全性について

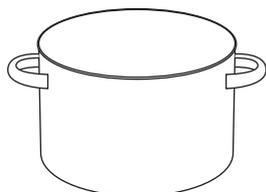
- 低温調理は食材に付着する細菌がフリーザーバッグ内で繁殖することで食中毒を起こす危険があります。
食材は新鮮なものを使用し、設定温度に注意した上で、調理後は速やかに取り出し、その日のお召し上がりください。
- 調理に使用するまな板、包丁などの調理道具はアルコール消毒などを行い、清潔なものを使用してください。
- 食材を扱う際は、手に付着している細菌を移さないため、素手ではなく、使い捨て手袋の着用をおすすめします。
- 調理に使用する袋や手袋は新しいものを使用し、使い回しをしないでください。
- イノシシ、シカ、ウサギ、クマ、カモなどの野生(ジビエ)食材は、細菌が付着している可能性があるため、使用しないでください。

使いかた

準備するもの



製品本体



家庭調理用鍋
(深さ8cm以上、容量4L以上のもの)



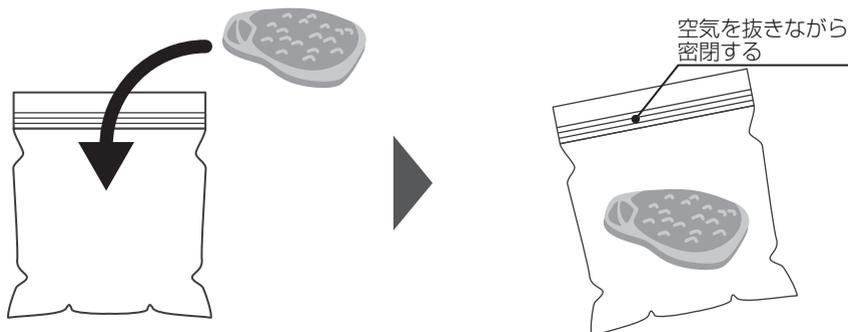
フリーザーバッグ
(耐久温度が100度以上のもの)



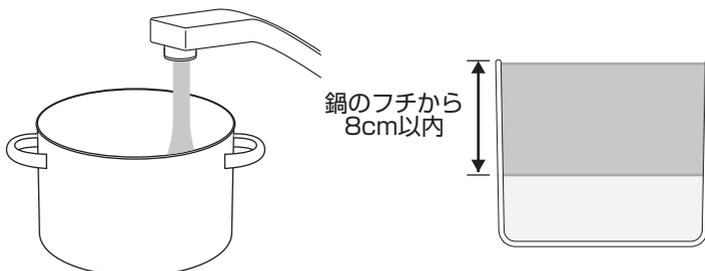
食材

使用方法

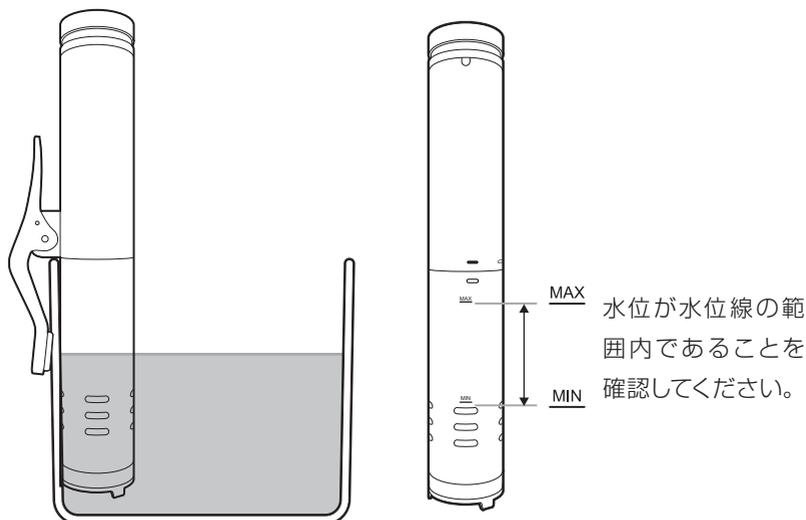
- ①食材をフリーザーバッグに入れて、空気を抜きながらしっかりと密閉します。



- ②鍋に水をいれます。※水位が鍋のフチから8cm以内になります。



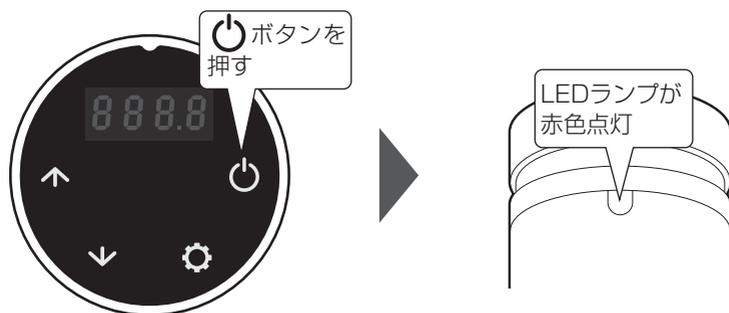
③製品を鍋に入れてクリップでしっかりと鍋のふちに固定します。



④製品の電源プラグを100V交流電源(AC100V)に挿し込みます。

(「ピー」という電子音になり、製品がスタンバイ状態になります)

⑤製品の  ボタンを押します。(製品のLEDランプが赤色に点灯します)



- ⑥設定温度を変更する画面になりますので、**↑** ボタンと **↓** ボタンで設定温度を変更し、**⚙️** ボタンを押します。

※本製品は温度を下げる機能は搭載してないため、水温よりも高い温度を設定温度に設定してください。

※ **↑** ボタン、**↓** ボタンを長押しすることで、通常の刻みの進み方よりすばやく温度設定をすることができます。



設定温度範囲： 0度～90度
設定温度刻み： 0.5度

- ⑦設定時間を変更する画面になりますので、**↑** ボタンと **↓** ボタンで設定時間を変更します。

※「時間」部分が点滅しますので、**↑** ボタンと **↓** ボタンで「時間」の設定を行い、**⚙️** ボタンを押してください。

次に「分」部分が点滅しますので、**↑** ボタンと **↓** ボタンで「分」の設定してください。

※ **↑** ボタン、**↓** ボタンを長押しすることで、通常の刻みの進み方よりすばやく温度設定をすることができます。



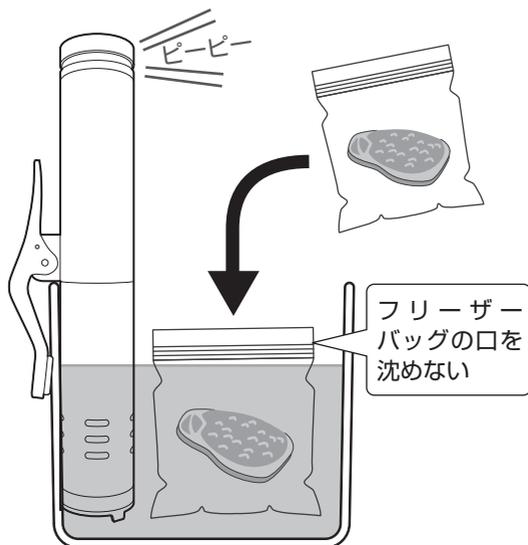
時間設定範囲： 1分～99時間59分
設定時間刻み： 1分

- ⑧ **⏻** ボタンを押すと加熱が始まります。(製品のLEDランプが青色に点灯します)



⑨水温が設定温度に到達すると「ピーピー」という電子音が鳴りますので、食材を鍋の中に入れます。

※食材を入れると水位が上昇します。最大水位線を超えないように注意してください



⑩カウントダウンが始まりますので、調理完了まで待ちます。

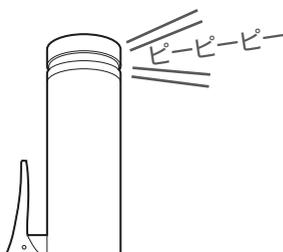
※調理中は鍋が熱くなりますので、ステンレスカバー、鍋本体には触れないようご注意ください。

※調理中は定期的に調理状況を確認してください。

⑪カウントダウンが終わると「ピーピーピー」という電子音がなり、調理完了です。

※鍋の中に食材を放置しないでください。

※鍋から食材を取り出すときは、高温になっているため十分注意してください。



警告

- やけどのおそれがあるため、使用直後の本体や鍋には触れないでください。
- 本体の取り外しは、本体や鍋などが十分に冷えた状態で行ってください。

詳しい調理温度・調理時間は添付のレシピブックを参考にしてください。



お手入れのしかた

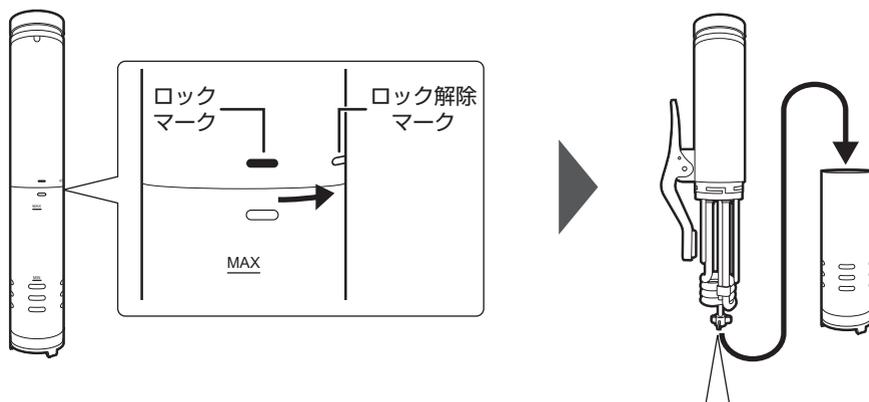
末永くお使いいただくために、使用後はお手入れを行い、清潔な状態を保ってください。

⚠注意

- お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行なってください。
- 煮沸したり、食器洗浄機や食器乾燥機で洗うことはできません。
- 化学ぞうきんや強い洗剤、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものは使用しないでください。
- 本体にゴムやビニールなどを長時間接触させたり、シールやテープを貼ったままにしないでください。

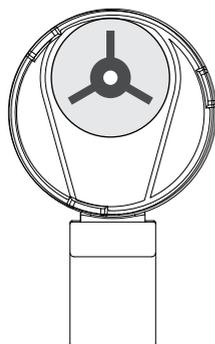
■ステンレスカバーの外し方

製品のお手入れは下記の手順にしたがって、ステンレスカバーを外した状態で行ってください。
ステンレスカバーを右に回し、ロックマークをロック解除マークに合わせて、ゆっくり下に引き抜きます。

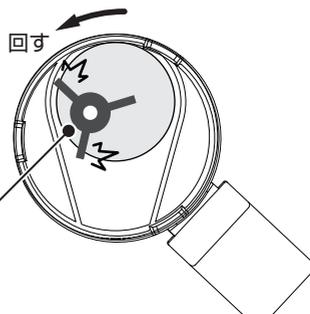


ステンレスカバーを取り外す際、ポンプカバーがフィンに接触することがあります。
無理に引き抜くと故障の原因となりますので、注意して引き抜いてください。

ロック状態



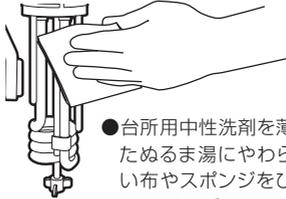
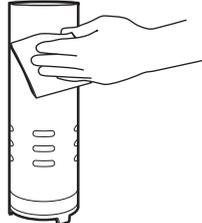
ロック解除状態



フィンがポンプカバーに接触している場合、
ステンレスカバーを傾けながら引き抜いてください

■お手入れ方法

製品は防水設計されておりますが、長時間の浸水への耐久性はありませんので、下記に従ってお手入れを行ってください。

ボディ部	ヒーター部	ステンレスカバー
 <ul style="list-style-type: none">●ボディ部の汚れは、やわらかい布やスポンジで軽くふき取ってください。●ひどい汚れは、台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯にやわらかい布やスポンジをひたし、よくしぼってからふき取り、よく水ですすいであら、十分に乾かしてください。 <p>※電源プラグは水に濡らさないでください。</p>	 <ul style="list-style-type: none">●台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯にやわらかい布やスポンジをひたし、よくしぼってからふき取り、よく水ですすいであら、十分に乾かしてください。	 <ul style="list-style-type: none">●台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯にやわらかい布やスポンジをひたし、よくしぼってからふき取り、よく水ですすいであら、十分に乾かしてください。

※長期間使用しない場合は、お手入れ後に十分に乾かし、高温多湿を避けて保存してください。

トラブルシューティング

症状	原因	対処方法
電源をオンにできない	電源プラグがコンセントにしっかりと挿し込まれていますか？	電源プラグを確実にコンセントに挿し込んでください。
画面にエラーコードEE1が表示され、電源をオンにできない	水量がMIN線を超えていますか？	MIN線を超えるように水を追加してください。
調理中にエラーコードEE1が表示される	水量がMIN線を超えていますか？	調理中に水が加熱されて、蒸発し、水量が減っている可能性があります。MIN線を超えるように水を追加してください。

※上記の確認を行って問題が解決しないときは、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、ご購入店、または、グリーンハウス テクニカルサポートへご連絡ください。

製品仕様

定格電圧	100V～(50, 60Hz)
定格消費電力	1000W
設定温度範囲	0℃～90℃(0.5℃刻み)
温度精度	±0.1℃
タイマー設定	1分～99時間59分(1分刻み)
対応水量	4～15L ※ただし水位がMINラインを超えること
外形寸法	φ50mm×H310mm
重量	約990g
電源コード長	約1.2m
材質	トライタン、PA、PC、SUS304、ABS
防水規格	IPX7
保証期間	1年間

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス テクニカルサポートダイヤル
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266 (24 時間受付)
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	https://www.green-house.co.jp/

- ・ 故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。
- ・ お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- ・ テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

- ・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・本製品は、日本国外では使用できません。
- ・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・This product can not be used outside Japan.
- ・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口

テクニカルサポート

受付時間 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土日祝日をのぞく弊社営業日)

テクニカルサポートダイヤル

03-5421-0580

FAX 03-5421-2266 (24時間受付)

故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。

グリーンハウスホームページ

<https://www.green-house.co.jp/>

GREEN HOUSE

株式会社グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5F
<https://www.green-house.co.jp>

Ver.1.2